

平成27年度

事業報告書

社会福祉法人 流山市社会福祉協議会

平成27年度 社会福祉法人流山市社会福祉協議会事業報告

平成27年度は、新たな法整備など社会福祉を取り巻く環境が大きく変わった年でした。

平成27年4月から経済的困窮や低所得者対策として、生活困窮者自立支援制度が施行され、介護保険制度の改正など、本会も、その対応を迫られた1年でした。そのような中、本会は、関係機関・団体と連携し「流山市地域福祉活動計画」を具現化し地域福祉の推進に努めました。

とりわけ、地域の福祉関係団体が一同に集まり市内4か所で開催した「地域懇談会」は、それぞれの地域の特性や地域課題に応じた「地域ぐるみ福祉推進事業」のあり方を探りました。また、「流山市社会福祉協議会災害時対応マニュアル」に基づき、災害ボランティアの養成講座の開催や必要な機材の備蓄を行い、万一の災害に備えました。

児童福祉では、指定管理者として「あすなろ学童クラブ（南流山小学校）」と「ひまわり学童クラブ（鱈ヶ崎小学校）」の適正な管理運営に努める一方、開設時間を午後9時まで延長し、サービスの向上と放課後児童の健全な育成を図りました。

また、経済的な支援が必要な方に対する各種福祉資金の貸付事業をはじめ、本会の新たな取り組みとなる「成年後見制度相談会」を開催し、日常生活自立支援事業の相談支援体制を充実しました。

従来からの介護保険法や障害者総合支援法に基づく、デイサービス等の事業を実施し、介護を要する方やご家族の負担軽減等を図りました。

指定障害福祉サービス事業所「流山こまぎ園」は、買い物かご洗浄作業等を通して就労に必要な訓練等を実施すると共に、地域との連携・協働による地域社会づくりを推進しました。

なお、本会の組織の発展・強化を図るため、平成26年2月に策定した「流山市社会福祉協議会の組織・経営改善基本方針」に基づき、平成27年度はその具現化に向けた取り組みをスタートさせ、持続可能な団体を目指して各種事務事業の見直しや改善を推進しました。

1 会 議

(1) 理事会

- ①平成27年5月15日 平成27年第2回
(平成26年度事業報告・決算の認定について 他)
- ②平成27年8月7日 平成27年第3回
(社会福祉法人流山市社会福祉協議会
社会福祉事業区分間補正予算他について)
- ③平成28年3月17日 平成28年第1回
(平成27年度社会福祉事業及び公益事業
補正予算について 平成28年度事業
計画・予算について 他)

(2) 評議員会

- ①平成27年5月15日 平成27年第2回
(平成26年度事業報告・決算の認定について 他)
- ②平成27年8月7日 平成27年第3回
(社会福祉法人流山市社会福祉協議会理事・
監事の選任について)
- ③平成28年3月18日 平成28年第1回
(平成27年度社会福祉事業及び公益事業
補正予算について 平成28年度事業
計画・予算について)

(3) 監 査

- ①平成27年5月12日 平成26年度決算監査
- ②平成27年10月21日 平成27年度中間監査
- ③平成28年2月9日 平成27年度社会福祉法人指導監査
(流山市)

(4) 委員会・協力員会議

- ・ 三役会 平成28年3月8日
(平成28年度事業計画・予算について 他)
- ・ 広報・高齢者対策委員会
平成27年6月2日、9月1日、12月24日、
平成28年3月1日
- ・ 児童・障害者対策委員会 平成27年10月6日

- ・ 協力員会議 (第1回目)
 - ① ケアセンター 平成27年6月25日 出席者52人
 - ② 東部公民館 6月25日 出席者28人
 - ③ 北部公民館 6月26日 出席者42人
 - ④ 初石公民館 6月26日 出席者23人

<会議事項> 1) 流山市社会福祉協議会の事業概要について
2) 社会福祉協議会会費等の依頼時期について
3) その他

- ・ 協力員会議 (第2回目)

ケアセンター 平成27年11月17日 出席者117人

<会議事項> 1) 歳末たすけあい募金運動の依頼について
2) 研修 (コンパッソ税理士法人による
マイナンバー講座)

- ・ 歳末たすけあい配分委員会 平成27年12月11日
平成28年3月11日

- ・ 心配ごと相談所運営会議 平成27年
5月22日、7月24日、10月23日
平成28年2月26日

2 普及・宣伝事業

- ・ 広報紙「ながれやま福祉だより」の発行
年4回 (6・9・1・3月)
(1回あたり55,450部、新聞折り込みにより全世帯配布)
- ・ ホームページ「nagareyamashakyo.com」の運営

- ・パンフレットの発行 7, 000部
(世帯回覧のほか、公共施設の窓口等で配布。)
- ・その他

福祉の啓発として(11月)に市内公共施設等にポスターの掲示を行い、市民の皆様には福祉への理解と福祉活動への積極的な参加を促すための普及宣伝活動を行った。

3 地域ぐるみ福祉推進事業

誰もが自分らしく安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、小・中学校の協力を得て啓発用のポスターを作成し、市内公共施設や自治会掲示板に掲示して頂き啓発活動を行うとともに、地区社会福祉協議会活動を支援し、地域ぐるみ福祉活動の推進に努めた。また、平成27年4月に開校したおおたかの森小学校を区域とした「おおたかの森小学校区地区社会福祉協議会」の設置に向けて地域の自治会、民生委員・児童委員、小中学校、PTAの方々と協議を行い、平成28年5月中旬の設置を目標に調整を行った。

(1) 地域ぐるみ福祉事業の推進

市民まつり(福祉会場)・市内全域において、啓発活動等を実施し、福祉意識の高揚に努めた。

開催年月日	内 容
10月6日	○児童・障害者対策委員会(地域ぐるみ福祉のまちづくり推進ポスター及び推進標語の審査) 応募数 ポスター 小学生26点 中学生16点 標 語 小学生45点 中学生21点
10月25日	○市民まつり(福祉会場)における啓発活動
11月1日～ 12月末	○地域ぐるみ福祉のまちづくり推進ポスター及び推進標語最優秀賞ポスターを市内公共施設・自治会掲示板に掲示し福祉の啓発活動を行った。

(2) 地域懇談会の開催

市内の4つの地域包括支援センターの地域区分ごとに、日頃から地域福祉の推進に深く関わっている福祉関係団体の方々にお集まりいただき、

地域の課題や福祉人材の洗い出し、現状・課題、その取り組みなどの情報を共有するとともに、各団体との連携をより深めるための地域懇談会を開催した。

期 日	地域区分	開催場所	参加人員
2月23日	東部	東部公民館	11人
2月23日	南部	流山市ケアセンター	15人
2月26日	中部	流山市コミュニティプラザ	12人
2月26日	北部	西深井福祉会館	14人

(3) 夏休みビデオ上映会

流山市・流山警察署との共催で、市内の学童クラブを会場に夏休み期間中の事故や犯罪の防止を図るとともに、児童福祉への啓発を図ることを目的に、ビデオ上映会とパトカーの乗車体験を実施した。

期 日	開催場所	参加児童数
7月22日	ひまわり学童クラブ	54人
	どんぐり学童クラブ	51人
7月27日	あすなろ学童クラブ	59人
7月28日	もりのいえ学童クラブ	76人
	江戸川台学童クラブ	79人
7月29日	西初石子どもルーム	49人
	たんぼぼ学童クラブ	33人
	つくしんぼ学童クラブ	33人
参加者合計		434人

(4) ボランティア活動の推進

各種ボランティア講座及び学生ボランティアによる小中学生を対象とした学習教室の開催や、市民への情報の提供、器材の貸し出し等を行い、ボランティアの育成と活動支援に努めるとともに、ボランティア・グループ、ボランティア関係団体との連絡調整を密にし、ボランティア活動の普及と推進に努めた。

①ボランティア養成講座等の開催

講座名等	開催月日	内 容	参加人員
ボランティア フォローアップ講座	8月26日	講義 ・心身における介護予防！（運動実践） ～口腔機能や高齢者の栄養について学ぶ～ 講師 流山市健康福祉部介護支援課 課長補佐 藤浪実江子 氏 ・発達障害への理解を深める 講師 社会福祉法人桐友学園 サポートセンター沼南 相談支援専門員 中原 久 氏	25人
ボランティア入門講座	11月13日	講義・体験学習 ・ボランティアの楽しさと喜び ～地域での絆を創る～ ・アイマスク・白状体験、車イス試乗・介助体験 講師 江戸川大学総合福祉専門学校 越智久恵 氏 座談会（個人ボランティア・登録ボランティア グループより3名参加） ・ボランティア活動を長く継続するために ～ボランティア活動者の事例を踏まえて～	17人
災害ボランティア入門講座	12月14日	講義 「第1部 自分が被災した場合」 ・災害支援の一般知識・緊急時の対応 ・被災者同士の配慮 「第2部 支援する場合」 ・ボランティアとしての心構え、被災者への 配慮 「第3部 日常からできること」 ・個人でできる災害への備え・地域活動を 活かす方法・自分でできるボランティア活動 講師 災害救援ボランティア推進委員会 事務局主任 天寺純香 氏	12人
災害ボランティア リーダー養成講座	1月26日	講義 ・流山市に想定される災害について 講師 流山市市民生活部（防災危機管理担当） 次長 石田和成 氏 ・流山市災害ボランティアセンターについて 講師 流山市ボランティアセンター事務局 講義・演習 ・災害シミュレーション～クロスロードゲームを 通して学ぶ～ 講師 災害救援ボランティア推進委員会 事務局主任 天寺純香 氏	24人
小中学生学習教室 （夏季・冬季・春季）	平成27年 8月10日 12月24日 平成28年 1月6日 3月25日 3月29日	小中学生を対象に、大学生（ボランティア）に よる学習教室を開催 ・児童・生徒の宿題等の学習の個別指導 ・実験・実技などを交えた集団授業	計27人

②登録ボランティアの活動状況

・年間総活動人数（延べ）

14,684人

・ボランティアセンターの要請に基づく活動人数

4,663人（286件）※施設ボランティア（27施設）含む

		高齢者	身体障害者	知的・精神障害者	児童	その他	合計
個人	延べ人数	1,930	301	502	80	7	2,819
グループ	回数	340	12	20	14	52	438
	延べ人数	1,459	53	27	69	235	1,843
合計		3,389	354	529	149	242	4,663

登録ボランティア人数

・個人728人 ・グループ数1,392人（77グループ） 計2,120人

③器材の貸出状況

品名	貸出回数	品名	貸出回数
ワイヤレスマイクセット・ライト	139	綿菓子機	2
テント	1	ポップコーンマシーン	12
図書・ビデオ	0	かき氷機	13
高齢者疑似体験セット	17	アイマスク・点字器・白杖	8
ビデオプロジェクター	13	その他（スクリーン等）	23
カラオケ	14	合計	242

（５）介護支援サポーター事業の推進

流山市より介護支援サポーター事業を受託し、高齢者の社会参加活動を通じた介護予防の推進と地域の高齢者の社会貢献を支援するため、介護支援サポーター事業の説明会や介護支援サポーター養成講座、フォローアップ講座等を開催し、サポーター活動の普及と推進に努めた。

①介護支援サポーター事業説明会

	開催年月日	内 容	参加人員
1	平成 27 年 5 月 8 日	○介護支援サポーター事業の概要について	5 人
2	6 月 1 日	○サポーター活動開始までの流れについて ○活動実績スタンプの活用について等	9 人
3	平成 28 年 3 月 25 日		8 人
合 計			22 人

※ 会場は流山市ケアセンター、市内公民館等で実施

②介護支援サポーター養成講座

	開催年月日	内 容	講 師	参加人員
1	4 月 24 日	○体験学習 「車いすの操作方法について」	江戸川大学 総合福祉 専門学校	15 人
2	5 月 19 日	○講義 「介護支援サポーター活動での心がけ」 ～利用者との接し方、傾聴について～		19 人
3	6 月 23 日	○講義 「活動先となる介護保険施設等の理解」 (介護保険制度の理解について)	流山市 介護支援課	9 人
4	7 月 17 日	○講義 「認知症への理解と対応について」		10 人
5	9 月 18 日	○講義 「要介護認定者の心と体を理解する」 ～高齢者特有の傷病について～	流山市 地域包括 支援センター	11 人
6	10 月 1 日	○修了式 ・介護支援サポーター手帳交付 ・サポーター活動開始までの流れについて ・活動実績スタンプの活用について等		14 人
合 計 (登録者数)				78 人

※ 会場は流山市ケアセンター、市内公民館等で実施

③介護支援サポーターフォローアップ講座

開催年月日	内容	講師	参加人員
9月30日	○講話及びフリートーク ①サポーターからの活動報告(各地区から1名ずつの計4名) ②フリートーク(各地区にグループ分け) ○講義 「社会参加でいつまでも元気に暮らす」	流山市 健康福祉部 介護支援課	29人
10月27日	○講話及び施設見学 ①あざみ苑におけるサポーター活動 ②あざみ苑施設見学 ○講義 「自分のコミュニケーションを振り返る」	あざみ苑職員 あざみ苑で活動中のサポーター 江戸川大学総合福祉専門学校	24人
12月18日	○講義 「傾聴入門：気持ちに耳を傾ける」	NPO 法人 P.L.A (パートナーシップ アンドリスニングア ソシエーション)	30人
1月19日			42人
合 計			125人

※ 会場は市内公民館、特別養護老人ホームあざみ苑で実施

④介護支援サポーター活動状況

登録者	499人
活動人数	239人
延参加人数	6,991人

※受入施設数 65施設

(6) ひとり暮らし高齢者日帰り交流会

平成28年3月15日、成田市(成田山新勝寺)へひとり暮らしの高齢者205人を招待した。

(7) 善意受入・払出状況

市民からの善意(物品等)の提供を受け、希望する市民に払出した。

品名	受入件数	払出件数
介護用品	25	13
日用品	13	16
その他	15	25
合計	53	54

4 福祉資金の貸付事業

低所得世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談援助により、経済的自立と生活意欲の助長をはかり、安定した生活が送れるよう、生活福祉資金（福祉資金・教育支援資金・不動産担保型生活資金・総合支援資金・緊急小口資金・臨時特例つなぎ資金）及び愛の資金（小口貸付資金）の貸付相談及び支援、償還指導に努めた。

特に、不安定な経済情勢等から急増している生活困窮者（世帯）等に対しては、平成27年4月より施行された生活困窮者自立支援事業と連携し、流山市及び流山市くらしサポートセンターユーマット（生活困窮者自立支援事業自立相談機関）、公共職業安定所等と連携した対応を行い、自立支援相談機関の作成する自立支援計画に基づき貸付申請につなぎ、貸付の実施後においても、自立相談支援機関とともに、当該世帯への見守り及び償還指導を行い、生活の安定が図れるように努めた。

◆相談内容・件数(平成27年度)

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
生活費	325	転居費	26	障害者自動車購入	3
失業	61	自己破産・倒産	4	福祉用具購入	—
就学・修学費	64	住宅改修	—	その他	65
医療・介護費	6	冠婚葬祭費	3	合計	587
不動産担保型生活資金	23	事業資金	5		
		出産費	2		

◆貸付状況（平成27年度貸付件数）

生活福祉資金（千葉県社会福祉協議会委託事業）

資金名	申請件数（申請額）	決定件数（決定額）	備考
福祉資金	2件（2,093,000円）	2件（2,093,000円）	内訳：障害者自動車購入費(1)、転宅費(1)
教育福祉資金	2件（1,168,644円）	1件（780,000円）	内訳：大学(1)、短大(1) ※決定保留
総合支援資金*	2件（726,017円）	0件（0円）	不承認2件
緊急小口資金*	12件（970,000円）	12件（970,000円）	
臨時特例つなぎ資金*	1件（50,000円）	1件（50,000円）	
合計	19件（5,007,661円）	16件（3,893,000円）	
不動産担保型生活資金	要保護世帯向け 2件進達	1件決定見込み	不承認1件（不動産簡易鑑定結果要件満たさず）

*印は生活困窮者自立支援事業との連携対応を要する貸付資金

愛の資金（本会独自事業・小口貸付資金）

貸付件数	116件	貸付金額	2,277,300円
------	------	------	------------

5 相談事業

(1) 心配ごと相談所の開設

流山市ケアセンターにおいて、心配ごと相談所を毎週水曜日（上半期は、午前10時から午後3時まで、下半期は、午後1時から3時30分まで）に開設し、市民の心配ごと・悩みごとの相談に民生委員・児童委員（15人）が2人体制で応じ、その解消に努めた。

相談内容	件数	相談内容	件数
生計	3	財産	1
年金	1	事故	0
職業・生業	2	児童福祉・母子保健	0
住宅	5	教育・青少年	0
家族	14	障害者福祉	5
結婚	1	母子福祉・父子福祉	0
離婚	1	高齢者福祉	0
健康・保健・衛生	2	苦情	4
医療	3	その他	18
人権・法律	5	合計	65

(2) 成年後見相談所の開設

成年後見に関する相談所を開設し、高齢や障害などによって判断能力に不安がある方を法的に支援する制度についての疑問や利用法等の相談に応じた。

相談日：平成27年8月31日、10月30日、12月18日

平成28年2月26日（4回）

相談者数： 3人

6 援護事業

低所得者（要保護世帯）、交通遺児世帯等が明るいお正月を迎えられるように、民生委員・児童委員の協力を得て年末に援護金等を届けるとともに障害者支援施設利用者、福祉施設入所者等へも支援金を届け支援した。

(1) 歳末たすけあい募金の配分

区分	世帯数等	人員	金額（千円）
要保護世帯	38世帯	88	1,460
生活困窮者自立支援機関	1カ所		100
市給食サービス利用者（おせち料理）		84	170

養護老人ホーム入所者		3	60
障害福祉サービス事業所等	32事業所		780
障害者生活ホーム	5事業所		250
児童養護入所児童・乳児院入所児		15	300
交通遺児		5	100
ひとり暮らし高齢者日帰り交流事業			500
福祉だより168号発行費(共同募金特集号)			150
配分経費			42
合 計			3,912

(2) 災害見舞金

区 分	件数	金額(円)
火災	3	60,000
死亡・重傷	2	15,000
床上浸水	0	0
合 計	5	75,000

(3) 法外援護

件数	金額(円)
7	3,500

7 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

判断能力が十分でないため、財産管理や福祉サービスの利用手続きが独力では難しい高齢者や障害者等に対して、日常生活自立支援事業の利用に関する相談、訪問調査、県契約締結審査会へ審査依頼、契約、実際の支援活動を実施した。

また、流山市社協パンフレットやホームページ、「ながれやま福祉だより」に事業内容を掲載したほか、流山市心配ごと相談所運営委員会において事業説明を行い、普及啓発に努めた。

・相談人数 15人（実人数）

高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
12	0	2	1	15

内容：日常的な金銭の管理等に関する相談 9件
 事業への問い合わせ 5件
 成年後見制度に関すること 1件

・ 相談・訪問調査等（相談継続ケース）

相談・訪問調査等延べ回数

高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計	うち訪問調査件数
66	0	26	0	92	12

・ 利用者数 7人（年度当初7人利用 新規契約1人 終了1人）

・ 支援回数・時間（利用者7人の延べ支援回数・時間）

支援回数：75回

支援時間：103時間

・ 支援内容

①福祉サービス利用援助（福祉サービス利用手続きの援助）	8人
②財産管理サービス（預貯金の引出しや公共料金等の支払等の援助）	8人
③財産保全サービス（通帳・実印・不動産権利証等の貸金庫での保管）	1人

・ 生活支援員（利用者宅を定期訪問して上記①・②の支援を行う）

現任者：6人（うち27年度新任0人）※兼務1人含む

登録者：4人（うち27年度新規登録2人）

退任者：2人

8 通所介護事業（高齢者デイサービス）

要支援・総合事業対象及び要介護者を送迎し、介護保険法のケアプランに沿ったサービスの提供を行い、生活意欲の向上や社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上と併せ、介護者の身体的・精神的な負担の軽減に努めた。今年度は認知症ケアの確立のために2名の職員が認知症実践者研修を受講し、また、地域包括ケアシステムの構築と医療、介護連携構築のための会議、講義に積極的に参加し、職員のより専門的なスキル向上に努めた。

（1）サービスの種類・内容

- ① 日常動作訓練 音楽・創作的活動・レクリエーション・課外活動等
- ② 健康指導 検温、脈拍及び血圧チェック・栄養指導
- ③ 生活指導・相談 日常生活上の訓練、指導、相談
- ④ 給食サービス 栄養士作成の献立による栄養及び身体状況・嗜好を考慮した食事の提供
- ⑤ 入浴サービス 一般浴・リフト浴を用意し、安全かつ快適な入浴の提供
- ⑥ 機能訓練 機能訓練指導員による心身等の状況に応じた機能の維持・向上訓練

(2) 利用状況

開所日数		310日
利用延人員		5,980人 総合事業 291人
内 訳	要支援1	10人
	要支援2	119人
	要介護1	2,061人
	要介護2	2,148人
	要介護3	799人
	要介護4	475人
	要介護5	77人
入浴サービス利用者延人員		4,378人
給食サービス利用者延人員		5,979人
送迎サービス利用者延人員		11,948人

9 身体障害者デイサービス事業

流山市からの受託事業として、在宅の身体障害者を専用車両で送迎し、各種サービスの提供、専門講師によるリハビリ（松戸整形外科より理学療法士、作業療法士を派遣）、音楽療法（流山音楽療法元気にドレミ）、木彫り、書道などを通じ、心身機能の維持・向上、家庭内自立や、職場復帰を目指す方の自立と、社会参加を促進し、併せて家族の身体的・精神的な負担の軽減に努めた。

なお、利用者に満足していただけるようデイサービスセンターの廊下に「目安箱」を設置し、広く利用者等から意見を求め、デイサービスの運営の改善に努めた。

また利用者や介護者にデイサービスでの利用者の様子や行事などを紹介し、デイサービス事業への理解と関心を深めていただけるように、3ヵ月毎に施設だより「フレンズ」を発行した。

(1) サービスの種類・内容

- | | |
|---------|-------------------------|
| ①機能訓練 | 理学療法・作業療法・音楽療法 |
| ②創作的活動 | 木彫り・書道・七宝焼き・作品作り等 |
| ③社会適応訓練 | 調理実習・パソコン・屋外活動等 |
| ④健康指導 | 検温、脈拍及び血圧チェック・栄養指導 |
| ⑤更生相談 | 福祉、日常生活等の各種相談 |
| ⑥給食サービス | 栄養士作成の献立による栄養及び身体状況・嗜好を |

考慮した食事の提供

⑦入浴サービス 一般浴・リフト浴

(2) 利用状況

開所日数		240日
利用延人員		2,906人
内訳	区分1(軽度)	1,796人
	区分2(中度)	975人
	区分3(重度)	135人
入浴サービス利用者延人員		958人
給食サービス利用者延人員		2,837人
送迎サービス利用者延人員		5,510人

10 高齢者訪問介護事業

日常生活に支障のある要支援及び要介護高齢者に対して訪問介護員を派遣し、自宅における身体介護や日常生活の支援に努めた。

また、より良い支援が行なえるように、月1回以上定期的に、職員研修会を実施し、介護技術の向上や必要な知識の習得に努めた。

◆平成27年度訪問介護員派遣状況 ()内は予防介護、【 】内は総合事業を表す

利用者数〔人〕	723	(64)	【52】	人
身体介護〔時間〕	2,373	(0)	【28.5】	時間
生活援助〔時間〕	3,746	(292.5)	【256】	時間
訪問時間数総計〔時間〕	6,119	(292.5)	【284.5】	時間
訪問回数総計〔回数〕	6,453	(289)	【277】	回

◆訪問介護員研修実施状況 事業所主催研修 年間 57回

定例会のほか、介護実習、新人研修等を開催するとともに、個別指導を随時実施し、職員の介護技術の向上等資質の向上に努めた。

◆ターミナル(看取り)ケア実施状況 年間 5ケース

◎ママ&ベビーヘルプ事業

産褥期の親子に対して訪問介護員を派遣し、自宅における沐浴、オムツ交換、

授乳等の援助や生活支援の支援に努めた。

利用者数〔人〕	2	人
訪問時間数総計〔時間〕	21	時間
訪問回数総計〔回数〕	21	回

◎生活支援サービス事業

当事業所利用中の方で、給付対象外のサービスを必要としている利用者に対して必要な支援を行い、日常生活の支援に努めた。

利用者数〔人〕	61	人
訪問時間数総計〔時間〕	400	時間
訪問回数総計〔回数〕	258	回

11 障害者等訪問介護事業

日常生活に支障のある身体・知的・精神障害者(児)等に対して訪問介護員を派遣し、自宅における身体介護、日常生活の支援及び外出のための支援に努めた。

◆平成27年度訪問介護員派遣状況

利用者数〔人〕	240	人
身体介護〔時間〕	1,521	時間
生活援助〔時間〕	908.5	時間
重度訪問〔時間〕	1,240	時間
同行援護〔時間〕	160	時間
移動支援〔時間〕 (身体介護を伴う)	330	時間
(身体を伴わない)	66	時間
訪問時間数総計〔時間〕	4,225.5	時間
訪問回数総計〔回数〕	4,676	回

◆平成27年度吸引等特定行為実施状況

人工呼吸器装着の重度の利用者2名に対して、痰の吸引や胃瘻による注入等の特定行為を実施した。 **年間延訪問日数 361日**

12 居宅介護支援事業

要支援者及び要介護者が適切な保健、医療サービス及び福祉サービスを総合的かつ効率的に受けられるよう配慮し、関係市町村、地域の保健・医療サービス及び福祉サービス事業者等と連携を図りつつ、総合的なケアマネジメントに努めた。

(1) 居宅介護支援延実施件数

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
825	627	347	251	146	2,196

(2) 介護予防居宅介護支援延実績件数

要支援1	要支援2	総合事業	合計
63	78	76	217

27.4～予防の区分が変更になりました。

13 介護認定訪問調査業務

流山市から介護認定訪問調査業務を受託し、介護保険法に基づく要介護認定申請者に対して、関係法令を遵守し、公正中立な立場で調査業務を実施した。

介護認定訪問調査実施件数（年間） 1,127件

14 流山市南部地域包括支援センター業務

(1) 総合相談支援業務

担当地域に住む高齢者に関する様々な相談をすべて受け止め、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローするとともに、必要に応じて継続支援している。

相談内容別件数

	介護・日常生活	サービスの利用	医療	所得・家庭生活	苦情	虐待等権利擁護	成年後見	介護予防プラン	合計
実数	1,027	292	76	48	1	17	52	413	1,926
延件数	2,320	904	309	220	1	150	205	1,037	5,146

地域別相談件数

	市野谷	三輪野山	加	平和台	流山	西平井	鱈ヶ崎	南流山	木	他地域	合計
実数	64	124	252	341	216	131	332	392	30	44	1,926
延件数	139	311	753	955	562	301	956	1,007	91	71	5,146

・地域連携推進会議開催 6回

テーマ「地域の顔の見える関係づくり」

南部地域の各自治会にアンケートを実施し、地区社会福祉協議会及び

地区民生委員児童委員協議会等の見守り活動やパトロールについて意見交換を行った。さらに地域の相談窓口として地域包括支援センターの役割について話し合った。

(2) 権利擁護業務

高齢者の適切な権利行使の為の支援、権利侵害からの救済及び侵害防止のための支援を行った。地域支援事業として周知活動を実施。

- ・ 日常生活自立支援事業の活用件数 0 件
- ・ 成年後見制度相談件数 20 件
 法定後見 (後見 1 件、保佐 2 件、補助 1 件)
 申し立て準備中 2 件、情報提供 10 件、その他 4 件
- ・ 虐待件数 実数 8 件、延べ件数 11 件 (再発 3 件)
- ・ 消費者被害件数 0 件
- ・ 認知症等家族のつどい 6 回
- ・ 認知症サポーター養成講座 14 回 (481 人)
 自治会 (3)、高校 (1)、介護支援サポーター (1)
 介護事業所 (2)、ケアセンター (2)、シルバー人材センター (2)
 農協婦人部 (1)、おおぞら学童 (1)、郵便局関係者 (1)
- ・ 認知症サポーターフォローアップ教室 3 回 (63 人)

(3) 介護予防ケアマネジメント業務

介護保険の基本理念に基づき「自立支援」を旨とし、生活上のさまざまな課題を抱える高齢者に対して適切な支援を行うことにより、要支援・要介護の予防やその重症化の予防、改善を図り、早い段階から高齢者ができる限り自立した生活を送れるように支援した。

介護保険認定者区分別者数(実数)

	更新	新規	区分変更	引継ぎ	合計
要支援	252	119	6	2	379
要介護	42	1	36		79
非該当	9	4			13
合計	303	124	42	2	471

介護予防・ケアマネジメント実績数(延数)

包括	643
委託	1,297
合計	1,940

- ・ O B 希望者にフォローアップとして「こつこつ貯筋教室」を月 1 回年間 493 人参加した。

(4) 介護予防の普及・啓発

- ・ さわやかクラブ (6)、ふれあいの家 (2)、自治会 (1)、地区社

会福祉協議会（２）に出前講座を定期化し、実施した。

（転倒予防、健康体操、消費者被害防止、認知症予防、口腔体操、介護保険講座等）

上記の他、自治会、さわやかクラブ、地区社会福祉協議会等、単発で出前講座を実施した。

年間 131回 参加数 3,565人

（５）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・介護支援専門員支援 634件
（虐待、成年後見、所得、認知症、精神障害等の困難ケース）
- ・民生委員相談支援 207件
- ・南部地域ケアマネ交流会 7回
（医療関係者、サービス事業者、民生委員等） 254人

（６）その他

- ・ホームページの更新、広報紙発行、チラシ等の配布により地域へのPRを継続して行った。
- ・資源マップ
小学校区地域ごとに取りまとめ、介護、介護予防等の地域の情報を整理し、随時更新した。

15 指定障害者福祉サービス事業所（就労継続支援B型）流山こまぎ園事業

障害のある人の働く場として、生産活動や社会参加活動等の機会を提供し、就労のための知識・能力向上のため必要な訓練を行なった。

開設８年目の年度当初は、利用者１０人で年度途中に４人の入所者１人の退所者があった。

買物かご洗浄の受託事業は順調に推移しており、利用者工賃を平均月額２３,５１６円支給し、春から秋にかけては菜園活動（畑作業）を実施するなど活動内容の一層の充実に努めた。

さらに、社会福祉協議会が設置運営する事業所であるとの特性を踏まえ、障害の有無にかかわらず相互に尊重し合える共生できる地域社会づくりに向けて、八木北地区社会福祉協議会との連携・協働による共催事業の実施や収穫した野菜の販売、芋ほり交流会などをおして、地域交流を促進した。

このように、当事業所の効果的な運営を確保するとともに、利用者の自立支援と社会参加の促進を図り、就労継続支援事業の推進に努めた。

（１）業務内容

- ①生産活動 … 買物かごの洗浄作業

- ②文化教養活動 … 年忘れお楽しみ会、和太鼓、日帰り旅行ほか
- ③健康指導 … 健康診断の実施、インフルエンザワクチン接種料の助成

(2) 利用状況 (平成28年3月31日現在)

- ①年間開所日数 241日
- ②利用実人員 13人
- ③利用延べ人数 2,850人

(3) 作業実績

- 買物かご洗淨個数 1,155,138個
- 1日当たり平均洗淨個数 4,793個

16 放課後健全育成事業 (あすなる学童クラブ・ひまわり学童クラブ)

平成24年度より、指定管理者としてあすなる学童クラブ・ひまわり学童クラブの2クラブを管理・経営し、保護者が就労等で放課後の家庭保育が困難な概ね10歳未満の南流山小学校及び鱒ヶ崎小学校に通学する児童を、保護者が終業後迎えに来るまでの間、学童クラブで保育し、楽しく集団生活を送ることで、保護者が安心して仕事と子育てを両立できるよう努めた。

(1) 内容

- ① 日常保育 おやつ・室内・外遊び(集団・自由)・宿題・読書 等
- ② 行事 誕生会(毎月)・お楽しみ会・昼食会・遠足 等
- ③ 親子行事(父母会と共催) 夏季・冬季に1回ずつ開催

(2) 開設・利用状況(延べ)

		あすなる学童クラブ	ひまわり学童クラブ
開設日数(日)		292日	291日
開設時間(時間)		2,462時間	2,521時間
児童数(月延べ/平均)		1,069人/89.1人	797人/66.4人
内 訳	1年生	416人/34.7人	309人/25.8人
	2年生	353人/29.4人	287人/23.9人
	3年生	300人/25人	201人/16.8人

保育時間： 平日 授業終了後 ～ 午後9時
土・夏休み等 午前7時30分 ～ 午後9時

17 その他の事業

(1) 車椅子の貸出し

主に高齢者や障害者に車椅子を貸し出し、日常生活の支援に努めた。

車椅子 295件 延べ346台（所有台数95台）

(2) ケアセンター及び福祉会館の管理・経営

流山市ケアセンター及び流山福祉会館の管理・経営を指定管理者として受託し、市民の福祉の増進に努めた。

18 福祉サービスに係る苦情受付及び苦情解決状況

特段の苦情申出はなかった。